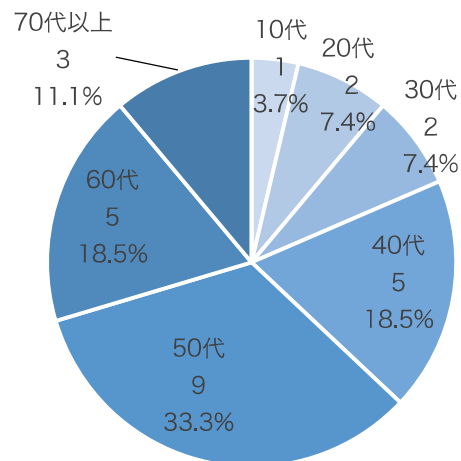


麻生区 | ワークショップアンケート結果まとめ

参加者 27 名、回答率 100%

1. あなたの年代に○をつけてください

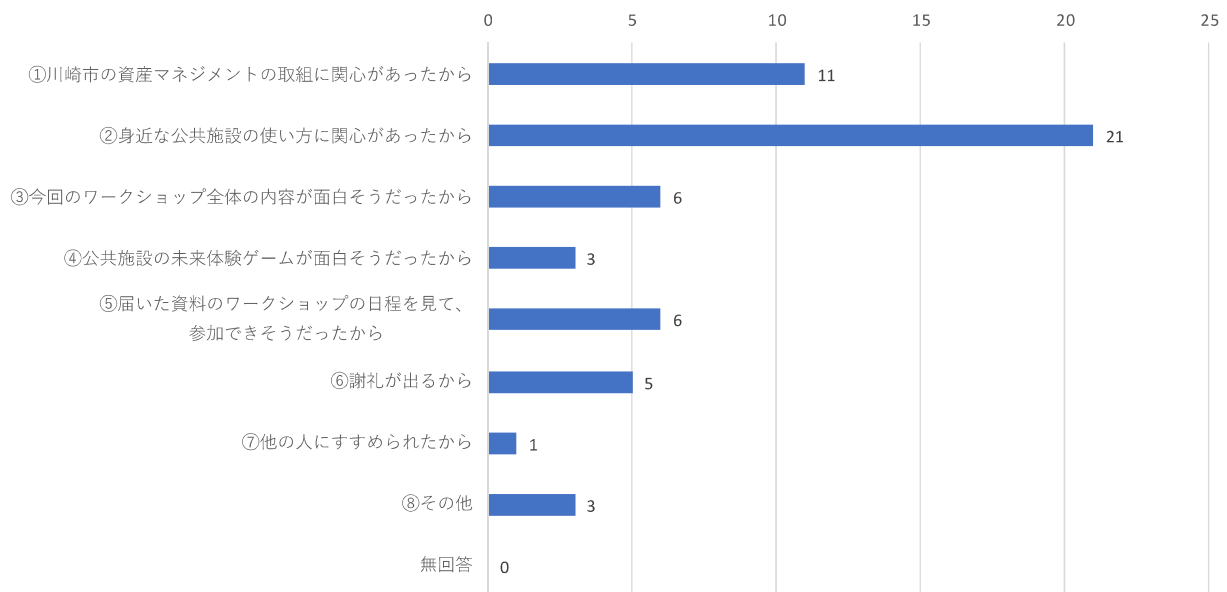
10 代	1	3.7%
20 代	2	7.4%
30 代	2	7.4%
40 代	5	18.5%
50 代	9	33.3%
60 代	5	18.5%
70 代以上	3	11.1%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



2. 今回のワークショップへの参加を決めた理由は何ですか。(複数回答)

「身近な公共施設の使い方に関心があったから」、「川崎市の資産マネジメントの取組に関心があったから」の回答が多かった。

①川崎市の資産マネジメントの取組に関心があったから	11
②身近な公共施設の使い方に関心があったから	21
③今回のワークショップ全体の内容が面白そうだったから	6
④公共施設の未来体験ゲームが面白そうだったから	3
⑤届いた資料のワークショップの日程を見て、参加できそうだったから	6
⑥謝礼が出るから	5
⑦他の人にすすめられたから	1
⑧その他	3
無回答	0



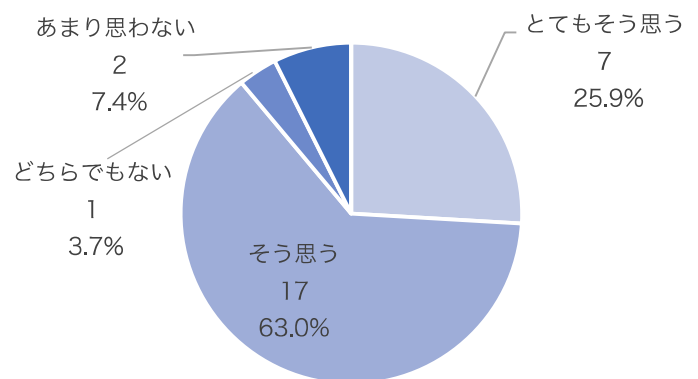
「その他」の記載

- ・麻生区に40年住みながら公共施設の存在を知らなかった
- ・政治専攻で市民参加に興味があったから
- ・自分の視野を広げるため

3. ゲームは楽しかったですか？

「とてもそう思う」が26%近く、「そう思う」が60%超と、9割近くに人が楽しかったと回答した。

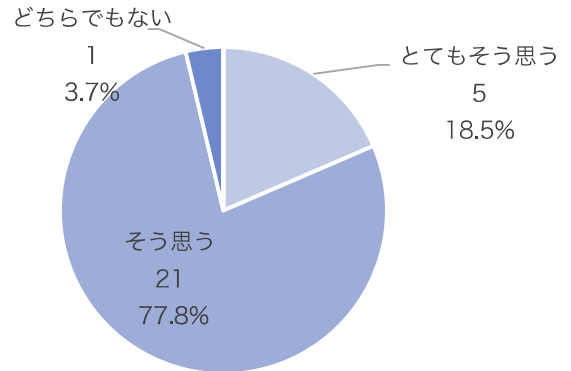
とてもそう思う	7	25.9%
そう思う	17	63.0%
どちらでもない	1	3.7%
あまり思わない	2	7.4%
全く思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



4. ゲームを通じて資産マネジメントの取組みについて理解できましたか？

「とてもそう思う」が2割近く、「そう思う」が8割近く、「どちらでもない」という回答は1名だった。

とてもそう思う	5	18.5%
そう思う	21	77.8%
どちらでもない	1	3.7%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



○をつけた理由やゲームを通じて学んだことなどをお書きください。

○「とてもそう思う」理由

- ・ゲームを通じて公共施設の種類を知ることができた
- ・公共施設への理解が深まった
- ・維持管理だけでなく、人口動態の変動も考慮に入れた計画を考える必要があるかと
- ・資産の維持費がかかること、よくわかりました

○「そう思う」理由

- ・ゲーム形式なので理解しやすかった
- ・予算と人数と行事のカード使いがおもしろかった
- ・財源がキビシイことが、よくわかりました
- ・あまり区について知らなかったけれど、大きなお金を動かすのは大変なんだなと思いました
- ・公共施設の管理コストがいかに大変か学びました
- ・施設は作って終わりではないことを今回のワークショップで知ることができた
- ・人口が減少していくので、施設の建て替え、運営方法等
- ・人と施設とお金の関係性と時間経過
- ・限られた施設を効率的に活用する視点を持つことができたから
- ・施設が老朽化していくという現実を自覚させられました
- ・公共施設の有効活用の必要性を理解できた
- ・人口と施設のバランスをとるのがむずかしい
- ・施設の種類と利用用途
- ・時代に応じた資産活用の大事さ
- ・氷山の一角に向けて進んでいなければよいのだが

- ・麻生区の街を良くする為に色々取り組み、私自身も考えたことは良かったです
- ・ゲーム難しかった。説明で理解できた

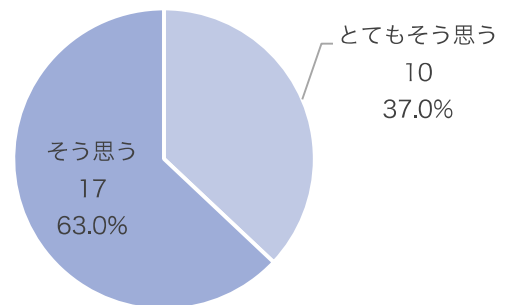
○「どちらでもない」理由

- ・施設の削減や増加、官民連携に関する説明・合意コストや解体費が入っていないので、自らの理解度が足りていないような気がする

5. ワークショップを通じて、地域ごとの資産保有の最適化への関心は高まりましたか？

「とてもそう思う」が4割近く、「そう思う」が約6割で他の回答はなかった。

とてもそう思う	10	37.0%
そう思う	17	63.0%
どちらでもない	0	0.0%
あまり思わない	0	0.0%
全く思わない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
計	27	100.0%



○つけた理由や今回のワークショップを通じて学んだことをお書きください。

○「とてもそう思う」理由

- ・実際はもっと複雑だと思うが、予算と行政大変だと思った
- ・少子高齢化、建物の老朽化を踏まえた資産保有の効率化の必要性を感じた
- ・どんな公共施設があるのかをそもそもよくわかっていませんでした。今後は目線が変わると思います
- ・色で見て10,20,30年後となるごとにどんどん黄色の形の人が残っていて自分たちの世代が沢山していかないといけないんだなと実感しました
- ・新たな視点に気づきました
- ・問題点が可視化された
- ・街を良くする知恵は、いろいろ出てくるなあと思いました
- ・ムダを省く、多世代交流を進めるという視点を具体的に理解できた

○「そう思う」理由

- ・資産の大切さ（使い方）
- ・税金が最適に使われてほしい
- ・施設は大変必要だと思います。資産を有効活用を目指すことを考えていきたい
- ・中心地と住宅地等、地域ごとに考える必要があると感じた
- ・運営に様々な問題があることが理解できました
- ・高齢層の増加と収入源、突発的な支出が見えやすく、余力の無さがわかった為
- ・老人世代が増え、こどもが減っていく将来への展望を考えさせられました
- ・施設によって様々な役割があることを知れた。違う施設でも同じ役割だったので、無くせばいいかというところというわけにはいかないこととか、ゲームで知ることができた
- ・千代ヶ丘こ文がしばしばすいているのを、どうにかできるかも知れないと思いました
- ・10年後には、76%が築30年になってしまうこと
- ・近くの公園のイベント体系の変化があり、関心があった為
- ・私たちの税金の使い道にとっても関係しているので
- ・資産保有の最適化にはゆとりを持った長い目で見たらどうか
- ・麻生区に住んで34年になりました。これから年を老いていくにあたり、やはり資産保有は大事ななと思いました
- ・次の議論に活かせるよう、ポイントを覚えておきたい

6.次回に向けたご意見や、本日参加した感想などご自由にお書きください。

○次回を楽しみにしている

- ・次回以降を楽しみにしています
- ・興味深かった。次回も参加したい
- ・次回も参加したい
- ・ゲームの『30年後』の時間がもっと欲しかった。また1年後くらいにこのゲームをやりたいです

○面白かった、考えさせられた

- ・とてもおもしろかった
- ・ゲームとはいえ大分考えさせられた
- ・ゲームがとてもおもしろかった。ぜひじっくり時間をかけて考えて見たいと思った
- ・ゲームを利用するのは良いアイデア

○地域について考えることができてよかった

- ・普段あまり考えない事に関心を向けることができた
- ・ゲーム自体はよくわからなかったが、これからの街をどうしたいかということはわかります。又、そうして欲しいと思いました

- ・自分たちでまちを作っていく感じが難しかったけど、とても楽しかったです。あまり普段話さない人とも話すことができて嬉しかったのと、もっと自分たちが町のために沢山行っていければいいなと思いました
- ・地域について目を向けることができた

○参加者やファシリテーターと協力してゲーム・議論・発表ができてよかった

- ・参加する前は、ワークショップの時間が3時間程度となっていたので良いなと思ったが、ゲーム中はあっという間に時間が過ぎていった。同じグループの方と意見を出し合って進められてよかった
- ・ファシリテーターさんが居てくれたお陰でゲームが理解でき、まちのことをきちんと考えることができた
- ・参加者の皆さんが活発に話し合って方向を決めていけた。発表者も各グループを適当にまとめていた

○実際の課題解決にはもっと深い理解が必要だと感じた

- ・実際の課題はもっと複雑なので、もっと深い理解や基礎的な資料が必要だと感じました

○参加者を増やしてほしい

- ・参加者を増やして欲しい

○ゲームを理解するのに苦労した

- ・ゲーム内容を理解するのに苦労しました